

# 令和5年度 第1回学校評議員会記録

滑川市立寺家小学校

7月14日(金) 16:00~17:00 校長室

[参加者] 松井教育振興会会長 山西富山大学名誉教授 水井東地区公民館館長  
桶川育友会会長 玉田読書ボランティア  
広田校長 此川教頭 小川教務

- 1 委嘱状交付
- 2 学校長あいさつ
- 3 本校の取組について
  - ・今年度の取組について  
教育目標の具現化を図る全体構想、年間行事予定及び1学期の動向、  
ネブタ流し関連、アクションプラン 等
- 4 懇談 (以下の「・」は、学校からの話題 「○」は、評議員の方々の意見等)

## 総合的な学習の時間の取組について

- ・6年 ネブタなど、5年 起業家教育及び出店、4年 あく手の集い、3年 寺家のまち
- 普段の学習が総合的な学習の時間に生かされている。また、学習発表会にもつながっている。  
(特に5年の起業家教育に関連して)
- クラフト、キーホルダー作成、射的、駄菓子販売等を予定。
- 14歳の挑戦よりも子供たちに任せる部分が多い。
- 協働的な学びを重視して、自分で学ぶ子を育てることをゴールにすることが大切。そのために、何のために勉強しているか分かるようにするとよい。国際調査でも、日本は職業観の醸成が弱い。

## 自己調整の授業に関連して

- ・算数科の授業でコース別学習を行い、自分でコースを選択できるようにした。昨年度末の児童のアンケートで、半分がこの学習の仕方を「好き」、半分が「課題がある」と回答。その一方で「続けたい」と回答した児童は94%だった。
- 伸びること(成長)を自覚できる仕組みが大切。
- ・今年度は対話的な授業を重視して、自分にフィードバックできるように取り組んでいる。

## マレーシア、ブータン、台湾との交流について

- ・(外国語の学習に関連した) 海外との交流は継続している。
- ネット上の交流とリアルな交流が大切。6年生でも上手に外国語が話せるようになる。

## 祭りに関連したごみ0作戦について

- 早い時間に中学生が片付けを行い、その後小学生も取り組んでいた。祭りの再開に伴い、関連した活動も再開できてよかった。

## アクションプランについて

- 新たな試みで、委員会とのつながりを意識しているが、うまく内容を分けてある。

## 読み聞かせについて

- (コロナの影響で)最初は児童の反応が弱かったが、少しずつぶやくようになってきた。本の内容については、昔話等の知っていると思うようなものでも、読み聞かせで初めて知るケースがあり、様々な本を準備していきたい。